



2020年8月期

中間決算説明会

第23期

DATE 2020.4.28
AUTHOR Media Kobo

1. サマリー

2. 2020年8月期上半期業績

3. TOPICS

4. 会社概要（ご参考）

サマリー

業績ハイライト

売上高	902百万円	(前年同期比	9.9%減)
営業利益	8百万円	(前年同期比	63.0%減)
経常利益	4百万円	(前年同期比	84.8%減)
四半期純利益	▲30百万円	(前年同期比	－%)

主な増減要因

- 売上：一部既存事業は売上高微増も子会社LWSのセカンダリーおよび新規ゲームが想定外の不調
MR技術開発は順調も医療ツーリズム・越境ECをふくむ新規事業全般が収益化に遅れ
- 営業利益：売上減少と子会社LWSの新規ゲーム広告宣伝費が影響し減少
- 純利益：経営資源の集中と効率化 中華圏の拠点を香港へ集約
上海子会社の清算を決議（3月） 当第2四半期に**23百万円**の特別損失を計上

■新型コロナウイルスによる事業環境の悪化等により予測困難に

(百万円)	2019年8月期	2020年8月期	
	(実績)	(修正前予想)	(修正後)
売上高	1,943	2,200 →	未定
営業利益	36	130 →	未定
経常利益	40	120 →	未定
親会社株主帰属当期純利益	22	60 →	未定
1株当たり当期純利益 (円)	2.23	5.95 →	未定

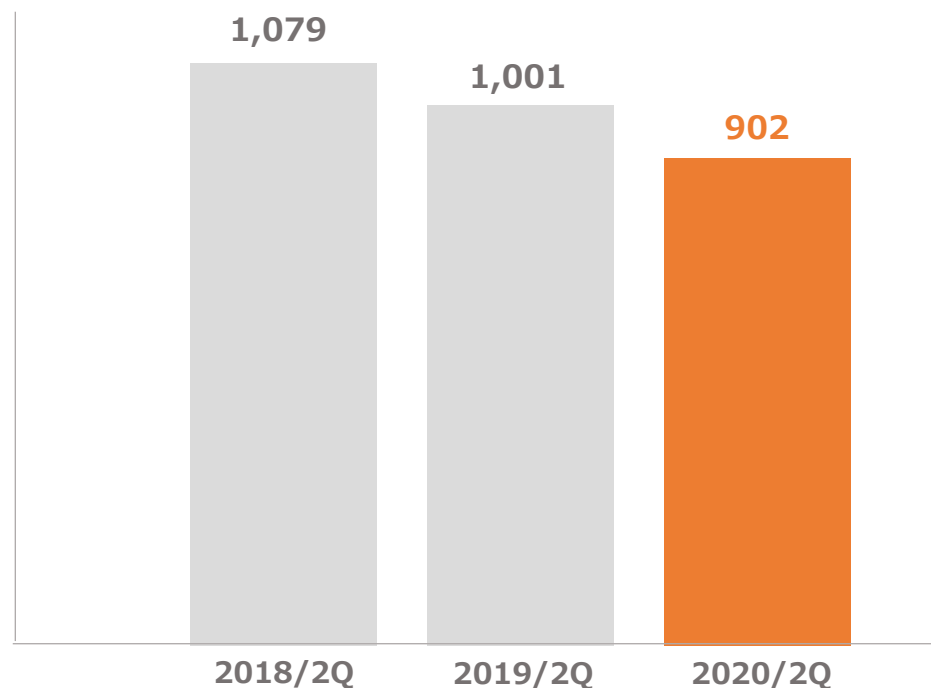
事業計画： 主に新規事業へ投資する方針に変更なし 各事業の内容については精査中

事業シナジーが見込まれる場合はM&Aも視野に

- 占い：ID統一やレコメンド等の共通システムの開発
- ゲーム：「コスプリ！！」の追加改修
- 医療ツーリズム・越境EC：ECシステムおよびインバウンド・アウトバウンドサービスの構築
- MR：独自プラットフォームの構築
MR技術とフォトグラメトリーを活用した BtoB ビジネスの構築

2020年8月期 上半期業績

■ 既存事業の減収と新規事業の計画見直しが影響



前年同期比 **9.9 %減**

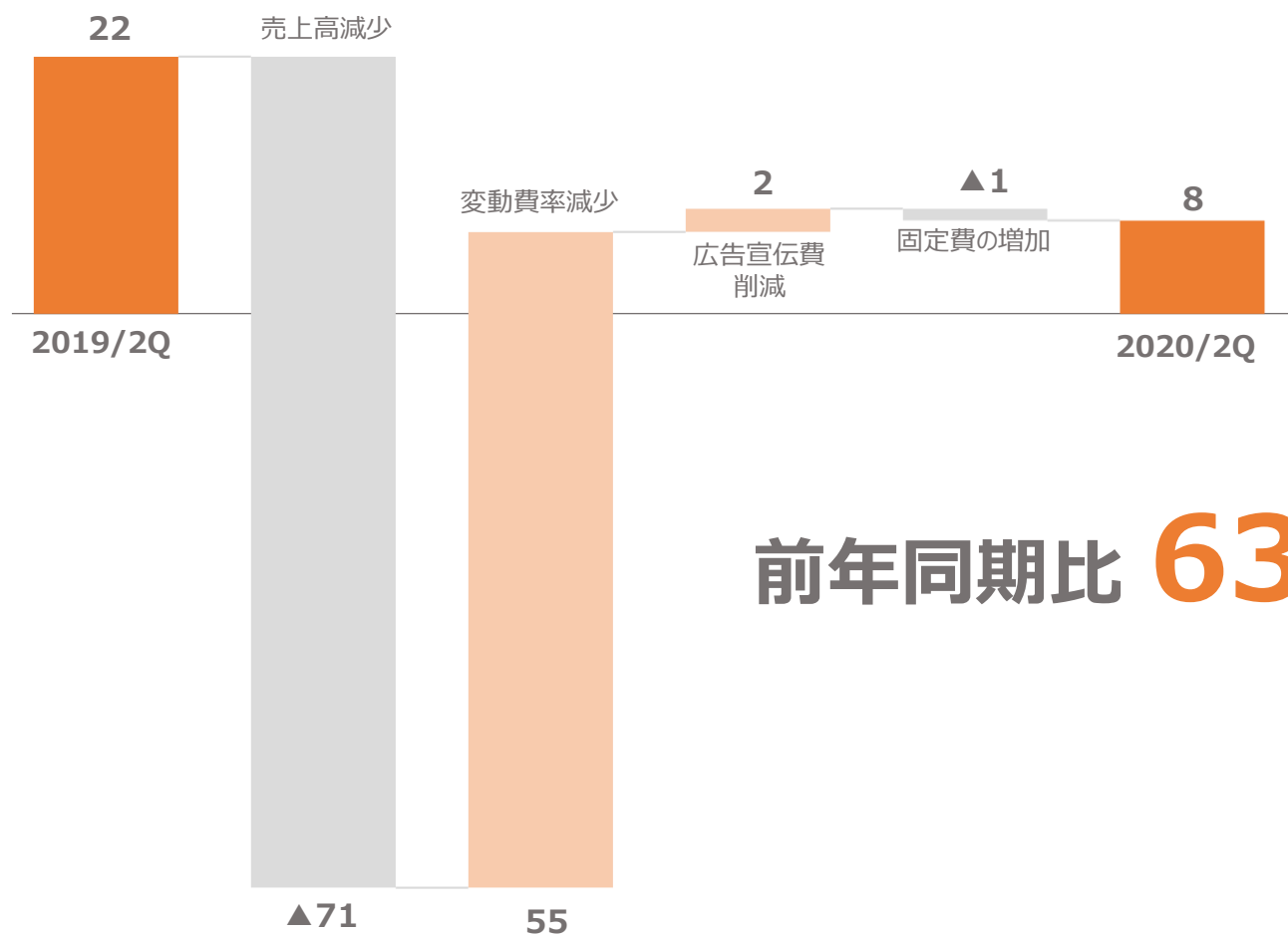
【増収要因】 One to One Marketing 事業およびメディア事業が前年同期比で増加

【減収要因】 占い：キャリア系会員コンテンツの会員数減少 システム投資時期遅延

ゲーム：新規タイトルの不調 セカンダリー運営数の減少とコンテンツの収益力低下（LWS）

その他：MR事業の技術開発・越境EC等の事業計画見直し＝収益化の遅れ

■ 新規ゲーム売上不振と新規事業収益化の遅れが影響



前年同期比 **63.0 % 減**

■ 一部既存事業が継続的増収益 新規事業は投資継続

(百万円)		2019/2Q	2020/2Q	増減率(%)	主な増減要因
占 い コ ン テ ン ツ	売 上	841	790	▲6.0	占いコンテンツ会員の減少およびコンテンツ短命化
	営業利益	262	268	2.3	One to One Marketing の増収益 および運営の効率化
ゲ ー ム コ ン テ ン ツ	売 上	126	49	▲60.7	セカンダリー運営数減少および新規タイトルの不調
	営業利益	6	▲16	—	運営長期化に伴うユーザー分散・収益の低下 新規タイトルの不調および広告宣伝費の発生
メ デ ィ ア	売 上	30	62	104.3	占いメディアにおける広告収益拡大と収益多角化
	営業利益	▲16	▲10	—	一部は黒字化も事業全体では赤字縮小に留まる
そ の 他	売 上	6	1	▲70.0	新規事業は投資フェーズに留まり収益化ならず (MR/越境EC/医療ツーリズム)
	営業利益	▲52	▲52	—	MRシステム開発への先行投資

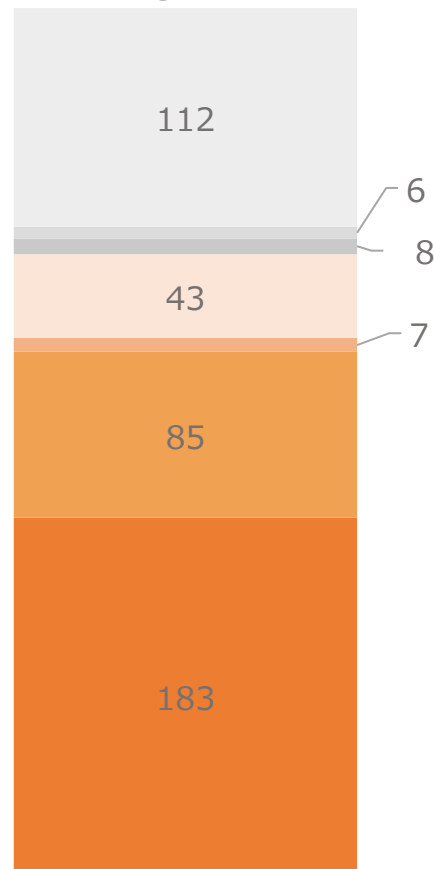
※調整額を表示していません。過去の業績及び比較は現在のセグメントに合せて遡及修正を行っています。

販売費および管理費 構成

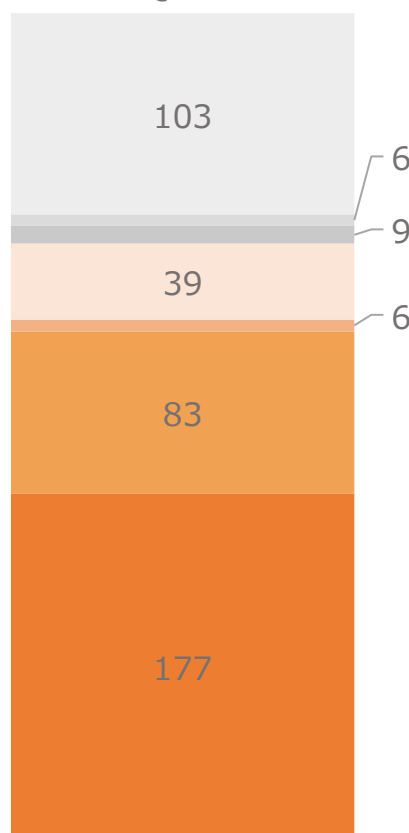
9

■ 効率化を追求 無駄をなくし必要な部分への投入を徹底

2019/2Q



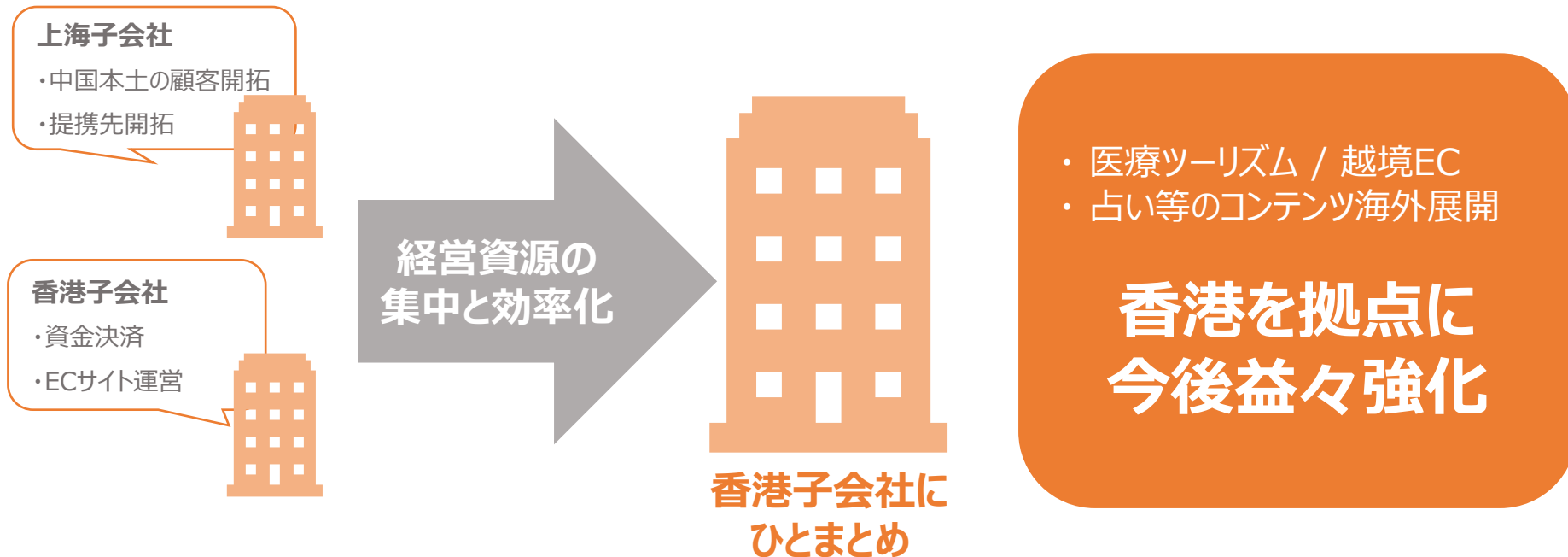
2020/2Q



前年同期比 **4.5 %減**

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ 減価償却費 ■ 業務委託料 ■ 採用費 ■ のれん ■ その他

■ 上海子会社の清算（3月決議）について当第2四半期に特別損失を計上



【特別損失の主な内容】

- 従業員解雇にともなう経済補償金
- オフィス関連（賃料、原状回復費用）
- 資産償却（建物付属設備、備品）
- 清算手続き費用

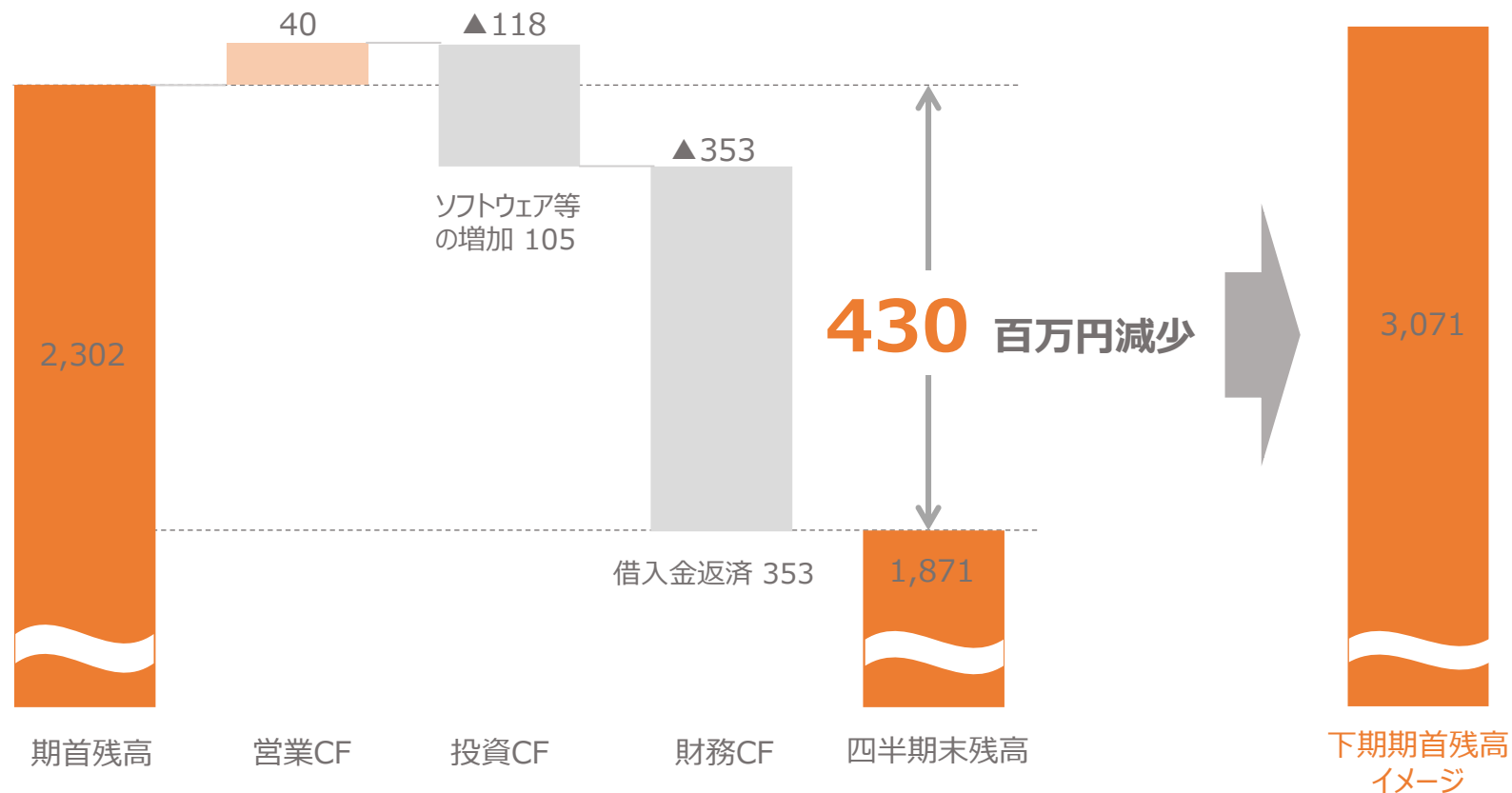
連結貸借対照表

11

■ 借入の返済および利益減少による現預金減少 開発によるソフトウェア等の増加

(百万円)	2019/FY	2020/2Q	増減額	増減率(%)
流動資産	2,679	2,242	▲437	▲16.3
うち現金および預金	2,302	1,871	▲430	▲18.7
固定資産	407	469	61	15.1
うちソフトウェア	128	142	13	10.6
うちソフトウェア仮勘定	19	74	54	278.2
総資産	3,087	2,711	▲375	▲12.2
流動負債	949	885	▲64	▲6.7
固定負債	789	508	▲281	▲35.6
負債	1,739	1,393	▲345	▲19.9
株主資本	1,351	1,320	▲30	▲2.3
うち資本金	451	451	—	—
うち利益剰余金	985	954	▲30	▲3.1
うち自己株式	▲514	▲514	—	—
純資産	1,348	1,317	▲30	▲2.2

■ 営業CFが縮小傾向 開発先行投資のため下期に借入れ



【特記事項】 ネットキャッシュ **717** 百万円で財務面では安定

下期は借入総額 12 億円を実行 事業への投資と事業環境急変に備え

TOPICS

メディア工房グループ 事業概要



占い

3 方向から占いを展開、悩める人の背中を後押し

- 1 to N 向け「デジタルコンテンツ占い」
- 1 to N 向け「占いメディア」
- 1 to 1 向け「電話占い・チャット占い」

医療ツーリズム・越境EC

中国富裕層向けインバウンド・アウトバウンドサービス
健康・美容の両サイドに対応

エンターテインメント

現実世界と非現実世界の融合、共有できる楽しさを世界に

出入国政策による影響

新型コロナウイルスへの対策として各国政府が講じている国境閉鎖、旅行制限等の国を超えた移動の制限により、訪日外国人の減少とこれにともなうインバウンド需要への影響が予想されます。出入国制限が長期化する場合は、医療ツーリズム事業に影響が生じる可能性があります。なお、現時点においては占いの海外配信への影響は勘案しておりませんが、占いははじめとするコンテンツの海外展開への影響の可能性についても否定できないと考えております。

サプライチェーンへの影響

新型コロナウイルスの世界的かつ大規模な流行により、サプライチェーンに大きなダメージが生じています。物流については徐々に回復の兆しを見せていますが、現在（4/28時点）も国際郵便物（EMS）の一部引き受けが停止しています。出入国制限同様、越境EC事業などの物品を取り扱うサービスにおいては、仕入・販売に影響が生じる可能性があります。

事業環境の急変による影響

当社グループは中長期的な事業戦略にもとづき事業内容、顧客ターゲット、国内外事業拠点等を決定しておりますが、新型コロナウイルスの流行により、当初想定していた事業環境から国内外の状況が急変しております。

当社グループは迅速かつ柔軟な判断をもって、状況に対応していきますが、事業環境の急変が当社グループの事業に影響をもたらす可能性があります。

従業員の安全・健康確保

当社グループは、職場における従業員の安全・健康確保の重要性を認識しています。新型コロナウイルスの流行のさなか、従業員の安全・健康を確保しながら、事業の継続し利益を追求するために、一定期間において90%以上の人員の原則リモートワークを行っております。そのため、お客様および取引先様に対し、一部平常時と異なる対応を行う場合があります。詳細については当社HPをご参照ください。

ID連携による分析の強化

- ・ ユーザー行動分析によるニーズの把握
- ・ ポイントシステム「COIPO」をリリース

レコメンド機能の強化とコンテンツの拡大

- ・ 顧客層の拡大に注力
- ・ セグメントの細分化による適格なサービスの提供

占い海外展開 / 中国展開本格化

- ・ 「心理相談」を軸としたコンテンツを展開
- ・ 人気コンテンツを中心にローカライズ



IDを通じてユーザーニーズを把握

ポイント付与でお得に楽しめる

「あなたにだけ」のサービス強化

- ・ 1 対1 の特徴を生かして個別的な悩みに柔軟に対応

ノウハウ・システムを新サービスへ展開

「きゃらデン」配信プラットフォーム拡大と横展開

- ・ Web版を開発予定



【メディア】

新規メディア制作 事業規模の拡大

女性向けコンテンツを展開 占いとのシナジー効果発揮

各サイトの収益力向上（PV数増加）



【ゲームコンテンツ】

セカンダリー事業の縮小

MR技術を取り入れたリアルとの融合



組織体制の見直し 経営資源の集中と効率化

- ・ 中華圏の拠点を香港に集約（上海子会社の清算）
- ・ 合併解消 = 完全子会社化により意思決定を迅速化（香港子会社の体制強化）

商品・サービスの充実と差別化

- ・ 美容・ヘルスケア製品を中心とした仕入先の拡大（医療機関専売品）
- ・ 個別的なニーズに対応した医療機関等との提携強化（幹細胞治療 etc.）

顧客基盤の獲得と拡大化

- ・ 中国現地企業との協業強化



SUPERTRACKの継続開発

- ・ 独自MRプラットフォームをふくむ一貫サービス提供を目指して (10月リリース予定)
- ・ LIVE配信などリアルタイムのコミュニケーションを追求
- ・ スマホをはじめとする様々なデバイスへの対応 (5Gへの対応)



 **SUPERTRACK**

■ フォトグラメトリー撮影ノウハウ・コンテンツプランの提供

- ・ 撮影・加工処理技術のナレッジを生かした撮影・コンサルサービス
- ・ デジタルアーカイブ等のコンテンツプランの提案・提供



経験したことのない体験を。

協業について大手企業と現在協議中

会社概要

VALUE YOUR LIFE with Global Human Communication.

テクノロジーは日々驚くべきスピードで世界的に進化し続けています

私たちはこうしたテクノロジーの進化こそが
人々に新しいコミュニケーションをもたらすと信じています

私たちのミッションは デジタルコミュニケーションを通じて

人々を心から楽しませ 不安や悩みを解決する一助となり

世界的に人々が豊かな人間関係を構築し社会がよりよくなるきっかけとなることです



代表取締役 長沢一男



赤坂本社
(住友不動産新赤坂ビル)

本 社	東京都港区赤坂四丁目2番6号 住友不動産新赤坂ビル12階
設 立	1997年10月
資 本 金	451百万円
従 業 員 数	連結 118名 (2月末日時点：就業人数)
平 均 年 齢	32.8歳 (2月末日時点：グループ全体平均)
子 会 社	株式会社ブルークエスト 株式会社ルイスファクトリー 株式会社ギフトカムジャパン 株式会社メディトラ 日本和心醫藥有限公司 (香港子会社)
上 場 市 場	東証マザーズ (3815)
事 業 内 容	コンテンツ制作・配信事業・各種メディア事業 他

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、安全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた損害等については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変更等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来の見通しとは乖離が生じることがありますのでご了承ください。

本資料に関するお問合せ



株式会社メディア工房
経営企画 IR 担当

TEL : 03-5549-1804
FAX : 03-3586-4480

MAIL : irpr@mkb.ne.jp
HP : <http://www.mkb.ne.jp/>